

## 平成 30 年度 第 2 回理事会議事録

日時：平成 30 年 7 月 14 日（土）14：00～16：00

場所：多伎コミュニティセンター2階小会議室

出席者：祝部、陶山、石川、岩根、石倉、白鹿、吉岡、和崎、岩本、藤井、傍島 以上 11 名

委任状：小林央、森脇、錦織、宇都宮、堀江、篠崎、川上、元廣、楠田、小林成、秋吉 以上 11 名

### 1. 副会長挨拶

### 2. 報告事項

#### (1) MTDLP 基礎研修会報告

参加者 27 名

雲田 OT(クリニックかんど所属) 協会 MTDLP 推進委員は任期満了となった。

今後士会 MTDLP 推進委員として活動していただく。

今後、雲田 OT を代表、高橋 OT (あかつき所属) を副代表とする。

#### (2) JIMTEF 災害医療研修ベーシックコース受講報告

小林会長参加

#### (3) 保険部研修（新人向け研修）報告

43 名参加

アンケート結果 大半が満足と回答。意見を参考に研修会内容の検討材料としたい

#### (4) 学術部研修会報告

48 名参加（会員 26 名、他職種 2 名、他県士会員 1 名、学生 19 名）

分かり易い内容で講義して頂き多くの参加者が興味関心を持って頂く事ができた

### 3. 企画書報告

#### (1) 島根県福祉用具連絡協議会 しまね福祉フェア協力依頼について

平成 30 年 11 月 2 日～3 日

セミナー講師【内容；腰痛予防について】、ブース設置を行う

### 4. 協議事項

#### (1) 県士会ホームページ お問い合わせフォームの追加（事務局）について

島根県作業療法士会の HP 上に、利用される方がわかり易いよう、事務局宛に繋がるお問い合わせフォームを増設したい。

フォームの増設に伴う名称変更について

（既存）お問い合わせ→（新規）研修会掲載依頼（広報部アドレス）

（新規）お問い合わせ（事務局アドレス）

今後 HP 刷新の検討もしている為、現時点では追加増設はせず、お問合せは事務局アドを連絡し対応する事とする。HP 刷新については、相見積もりとり、業者選定も含め検討していく。

→**継続審議**

## (2) 交通費精算額の修正について

1回あたりの清算を「往復」で算出していたが、50kmを超えて清算する部員が多く当初予算より大幅な増額が予測される事態となった。

当年度予算での予備費が50000円程度しかなく、その範囲で賄えない可能性がある。

1回あたりの清算を「一回あたり」から「片道」での清算としてお願いしたい。

### ■現行

項目	費用
理事会交通費及び会議費	1回あたり、50km以下500円、50km以上1000円、100km以上1500円
部会・実行委員会	1回あたり、50km以下500円、50km以上1000円、100km以上1500円

### ⇄⇄⇄ 改定後 ⇄⇄⇄

項目	費用
理事会交通費及び会議費	片道、50km以下500円、50km以上1000円、100km以上1500円
部会・実行委員会	片道、50km以下500円、50km以上1000円、100km以上1500円

- ・片道算定は職場～会議会場～自宅というような場合はどうなるか？→自宅～会議会場で算定
- ・経費抑制のため、今後、WEB会議等の活用等も検討という意見あり

制度の変更は総会時、会員に周知承認いただいたが、その後の運用で、変更にならざる負えない事態がある事は心苦しいが、理事会で協議の上、上記運用をやむお徳ないと判断し了承する。

## (3) ブロックメールの変更について

現在、会員への情報発信はブロックメールを利用。下記理由により、業者委託管理を検討。

- ①事務局→ブロック長→会員と情報伝達にラグがある
- ②会員数が多くなり、メール上限に当たる可能性が出てくる（Google規約）
- ③ブロック長の方の負担となっている

### 【業者委託のメリット】

- ①上記課題の解消
- ②登録アドレス数や開封状況の確認が可能
- ③アンケートなどの情報収集および、集計が容易になる

【経費】年間：35,000円

【今後の予定】30日間のお試しを理事メールで実施し検討材料にする

会員への移行周知はブロックメール、機関紙等で発信。当面は、ブロックメールと併用する方向。セキュリティ管理について、業者との事前確認、把握が必要。

→**継続審議；理事でのお試しを行い、導入検討**

(4) 災害による会員の被災に対してのお見舞い等について

県士会において災害における規約は設置なし。

災害発生時は事務局より各ブロック長に安否確認・被害状況の確認のメールを配信している。

協議依頼書に沿って協議し、各理事より意見をいただいた。

災害支援マニュアルについて、今後設置検討の必要あり。

会員個人、病院・施設対象も考える

被災証明については自治体が認定したものとなるのか。→**継続審議**

(5) 介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会

島根県の協議会開催を行うため、県内で構成メンバーを検討→**承認**

(6) 地域支援事業部 ケア会議オブザーバー参加について

1. 【現状】各地域の包括支援センターより、地域ケア個別会議の人材派遣依頼が増加。

ケア会議の助言者として派遣できる人材は、現在限られており、経験する場も僅か。

助言者について学ぶ場として、オブザーバー参加を設けてはどうか

2. 【予算】オブザーバー参加者に対し、交通費支給を検討。

(案) 浜田、大田、松江、雲南、飯南、出雲圏域において、10~15回/年、一人1回まで、施設から出張で参加している場合は不可。

再度、予算、枠組みを検討し提示すること→**継続審議**

(7) 福祉・介護人材確保対策ネットワーク会議

6/7 会議において

①平成 30 年度 会議への参加委員の推薦について→平成 30 年 7 月～楠田監事再任→**承認**

②介護の日のイベント

11/3.4 出雲ドームで開催→ブース設置行う

取りまとめは楠田監事。当日スタッフは渉外部・広報部・MTDLP 中心で行う。

当日は、福祉用具フェアもあるため、当日スタッフ、ブース用グッズについてはバランスを考え

使用すること→**承認**

(8) 島根県診療放射線技師会より合同普及活動について

高校生対象とした広報体験イベント

ショッピングセンターで市民向け広報イベント

→現段階では情報量が少ないため、会議等に参加し情報精査の上検討する→**継続審議**

その他

査読委員募集しているが、委員該当者は非常に限られるため、それに準じる委員として、理事の皆様ご協力ください。

---

次回

平成 30 年度 9 月 15 日 (土) 14 : 00 ~ 16 : 00

場所 : 出雲市民会館 303 研修室 (和室)